

令和2年5月1日（金）

保護者各位

出仲間こども園
園長 平岡 正浩

新型コロナウイルスの影響に伴う行事の変更等について

保護者の皆様におかれましては、日頃より本園教育・保育に対して温かいご理解とご協力をたまわり深く感謝しております。

今般の政府による全国的な緊急事態宣言による外出等の自粛期間は、当初5月6日までとなっておりましたが、新型コロナウイルスの感染状況に鑑み再度延長されるのではないかとの報道がなされております。いずれにしましても、園での教育・保育活動や行事等の実施におきましては、当面の間政府の示す「3密（密集・密接・密閉）」状況を回避し、意識した上での配慮が必要となることは間違いのないと思われまます。

園の方でもこうした状況を踏まえて職員間において、並びに体操体験の濱口先生や音楽体験の古森先生、YMCA担当の方々とも意見交換を重ねた上で、当初の年間計画を見直すことにしました。具体的な活動や行事に対する当園の考え方や内容等につきまして下記に示す通りですが、何卒この国難とも言える全国の状況を熟慮していただいた上で、より一層のご理解とご協力をたまえればと思ひます。

○仲間っこオリンピック（運動会）・ミニミニオリンピック（0・1歳児：9月）

6月20日（土）に田迎小学校体育館にて実施を予定しておりました仲間っこオリンピック、また9月19日（土）実施予定だった0・1歳児対象のミニミニオリンピックは本年度中止とさせていただきます。その主な判断の根拠は以下に示す通りです。

※登園自粛期間の延長に伴い、全園児が集う機会が少なく、全体での練習もできず、従来の「行事」といった形での実施は難しいこと。

※会場となる体育館・保育室は密閉空間であり、そこに大勢の人間が集まれば「3密（密集・密接・密閉）」状況が生まれ感染拡大のリスクを高める可能性があるため。

※「延期」という方向性は、現時点でコロナウイルスの終息の見通しが立たないため考えていない。また、2学期以降フェスティバル等生活発表の機会もあるので、そうした機会を利用して代替できる可能性があるため。

以上の点により今年度の仲間っこオリンピック、ミニミニオリンピックは、従来の形での実施は見合わせることにしました。

○YMCAプール教室について

例年長児対象に5・6月に実施しておりましたYMCA教室ですが、5月の時点でのプール教室は中止という話を先方よりうかがっており、コロナの状況によりましては今後の実施も未定の様です。従いまして本年度のYMCAのプール教室は、5・6月における実施は見送りたいと思ひます。温水プールでもありますので、今後コロナウイルスの動向を見守りながら、実施できる方向性を検討していきたいと考えております。

○プール、水あそび等

例年夏になると、子どもたちは大プールへ入ったり、ビニールプールと一緒に入ったりしますが、このような形での水遊びやプール活動は本年度見合わせたいと思います。この点につきましては体操体験の濱口先生ともお話を重ねた上で、主に次の点に留意して見合わせる判断を致しました。

※ウイルス感染は目や鼻や口といった粘膜を通して起こると言われていますので、水を媒介としてそのようなことが起らないようにする必要があります。

※個別のシャワーのような流水での水浴びは可能かもしれませんが、個別のタオルを個別のお湯で絞った個別の体拭きなら可能かもしれませんが、集団で実施する場合、従来の形では、多児との接触を完全に防止することが困難なため。

この点につきましても新型コロナウイルスの動向を見ながら、判断し実行可能な方法を模索していきたいと考えています。

子ども達にとりましては、楽しみな水遊びを十分に体験させられないことは残念ですが、できるだけ広く日陰の場所をつくり、ウォーターミスト付きのテントを導入するなど、遊びの中で涼しく過ごせる工夫を考えていきたいと思っています。

○ヴィーヴル訪問

9月に予定しておりました年長児による在宅・デイケア施設「ヴィーヴル」への訪問ですが、こちらはご高齢や病弱の方が多数おられるということで、訪問して直接お年寄りと接触するリスクを避けた方が良いという配慮から「訪問」という形の実施は見合わせたいと思います。

世代間の交流という意味では、年長児にとりましても貴重な体験でもありますので、今年度は直接訪問できない分、手紙や園児の歌や手遊び等のDVDを送ったりしながら、交流ができないか等を念頭に検討していきたいと考えております。

○保育参加等

従来保護者の皆様の参観につきまして、当園では「日々の保育の様子、体操・音楽・イングリッシュ体験の様子を自由に参観していただいても構わない」というスタンスを採っております。今年度は先に挙げた新型コロナウイルスの影響により様々な行事の変更や中止が相次ぐ事態が想定されるため、より参観の間口を拡げて、一定の期間を設けてより多くの保護者の方々に日常の保育の様子を参観し、参加できるような状況を積極的に作っていききたいと考えています。

具体的な日程は今後の新型コロナの様子をうかがいながら判断するしかありませんが、例えば1日につき最大5名くらいまでという制限を設け、参観日をバラバラに分散して参加してもらうような方法も検討しています。もし希望日に制限以上の参加者が集まった場合には、できるだけ早い時期にお知らせし、変更をお願いするという方法も考えております。保護者の皆様のお仕事との関連もありますので、このあたりにつきましては柔軟に対応できればと考えております。

以上は現時点における新型コロナウイルスの影響に伴う本年度の行事変更と、園としての考え方です。今後も新型コロナウイルスによる影響や動向を見据えながら、逐次計画の変更等を加える必要も出てくるかも知れません。何卒諸般の事情を考慮いただきまして、皆様のご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。